

■ J Aはだの基本理念と運営方針

● J Aはだのめざすもの

1. J A運営の基本理念

(1) 基本理念の再確認と意味内容の明確化

J Aはだのは、J Aグループの一員として、「J A綱領」の精神を踏まえ、特に「前文」に示された次の2点を大切にします。

①「**協同組合運動の基本的な定義・価値・原則に基づき行動します。**」

②「**農業と地域社会に根ざした組織として社会的役割を誠実に果たします。**」

さらに、これまで掲げてきた基本理念「夢のある農業と次世代へつなぐ豊かな社会を地域できずく」をあらためて再確認し、その意味内容を次のとおり明確にします。

①「**夢のある農業**」とは

農業者にとってやりがいがあり、また、地域社会にとってかけがえのない役割を果たし、地域の人々からも期待され、評価され、その結果、後継者が次々と生まれるような活力ある都市農業づくりをめざすこと。

②「**次世代へつなぐ豊かな社会**」とは

次の世代を担う若者や子ども達に、自信を持って継承してもらえる地域社会づくりをめざすこと。

そのような社会とは、一つは、経済的な豊かさはもちろん、精神的にも豊かな気持ちで安心して暮らせる生活環境や条件が整った社会であり、もう一つは、地域環境の保全や農との共生、協同活動を大切にする人々で構成される社会です。

③「**地域できずく**」とは

組合員をはじめ、地域住民の協同活動を基本に、みんなが求める地域社会をきずくこと。

J Aは、そのような地域住民の協同活動を、市をはじめ組織・機関と連携して、支援・助長することが大切だと考えています。

(2) J A運営の基本目標

「J A運営の基本理念」を踏まえ、J A運営の基本目標を、「地域社会で果たしたい役割」として明確にし、特に次の二つの役割を大切にします。

①**地域の特性を活かした農業振興と都市農業が果たし得る地域社会への多面的な機能の発揮**

農業への関心や就農意欲の向上をめざし、新しい地域農業の仕組みづくりや、多様な担い手を育成するなど、農業を支える人づくりをすすめて、地域農業の振興・活性化に向けて最大限の役割発揮につとめます。

同時に、地域環境の美化や保全をはじめ、都市農業が地域社会に果たすべき機能の発揮に大きく貢献します。

②**健康で福祉が充実した豊かで活力あるコミュニティの形成への積極的貢献**

J Aと地域住民の心が通い合う、健康と福祉を充実し、豊かで活力あるコミュニティの形成をはかります。J Aを中心に地域住民や行政が一体となった活動を展開するとともに、相互扶助や協同組合意識の高揚をはかり、地域社会活動を活発にする取り組みをはかります。

(3) JA運営の指針

JAはだのは、組合員と地域社会の期待に応えて、JA運営の基本理念と基本目標を実現していく上で、次の7点を日常の取り組みの指針として大切にします。

- ①JAが協同組合であることの認識を確立し、協同組合らしさを大切にします。
- ②組合員の総意と組合員の参加・参画を大切にします。
- ③地域社会で果たしたい役割発揮に向けて誠実な取り組みをすすめます。
- ④環境の変化に対応し得る経営基盤の強化と経営管理体制の整備につとめます。
- ⑤組織の活性化と魅力ある組合員組織の形成をすすめます。
- ⑥行政機関・関係団体との連携や協同組合間協同の取り組みをすすめます。
- ⑦JA運動者であり、JA実務の担当者として重要な役割を担う職員を大切にします。

(4) キャッチフレーズ「ふれてHeartコミュニティ」

JAはだのは、簡潔な言葉に表現した現在のキャッチフレーズ「ふれてHeartコミュニティ」に「JA運営の基本理念」の意味を込めて、補足説明を行ない、組合員・役職員の日常の行動規範とします。

- ①「ふれて」とは
人と人とのふれあいと農業や自然にふれる思いと喜びを大切にすること。
- ②「Heart」とは
人と人との和・思いやりを大切にすること。
- ③「コミュニティ」とは
地域ぐるみで豊かさを育み、幸せをわけあう地域社会。

2. 「3つの共生運動」への取り組み

JAグループは、1997年の第21回全国JA大会での決議を受けて、「次世代・消費者・アジア」との3つの共生運動を全国で統一展開しています。JAはだのでは、この取り組みを大切にしてきましたが、これをさらに発展させ、特に、「消費者との共生」については、「農」が地域に果たすべき多面的な役割を踏まえて、消費者だけでなく「地域との共生」に広げた運動を展開します。

(1) 次世代との共生

次世代を担う子どもたちが、農業体験を通じて自然を理解し、食物を作り、育て、大切にすることを養うことは、生きる力を身につける上でも、健全な地域社会を継承・発展させる上でも重要です。農業・農村のよき理解者を育て、より多くの国民に「食」や「農」への理解を促す上でも社会的意義があると考え、「次世代との共生」に取り組めます。

(2) 地域との共生

農業生産が持つ多面的機能を最大限に発揮し、組合員や地域住民に豊かなくらしと環境を提供します。さらに、「はだのじばさんず」を拠点とした「地産地消」の取り組みや、JAの事業活動等を通じて、住みよい地域社会づくりと地域の活性化に貢献します。

(3) アジアとの共生

姉妹農協締結先の韓国・知道農協をはじめとした、アジア地域の農協や関係機関との交流活動をさらにすすめます。このような「アジアとの共生」を通して、国際的視野を広げるとともに、共に生き、共に学びあって、お互いの理解をすすめ、双方向性での文化交流を促進します。

■金融商品の勧誘方針

当組合は、貯金・定期積金、共済その他の金融商品の販売等に係る勧誘にあたっては、次の事項を遵守し、組合員・利用者の皆さまに対して適正な勧誘を行います。

1. 組合員・利用者の皆さまの商品利用目的ならびに知識、経験、財産の状況および意向を考慮のうえ、適切な金融商品の勧誘と情報の提供を行います。
2. 組合員・利用者の皆さまに対し、商品内容や当該商品のリスク内容など重要な事項を十分に理解していただくよう努めます。
3. 不確実な事項について断定的な判断を示したり、事実でない情報を提供するなど、組合員・利用者の皆さまの誤解を招くような説明は行いません。
4. 電話や訪問による勧誘は、組合員・利用者の皆さまのご都合に合わせて行うよう努めます。
5. 組合員・利用者の皆さまに対し、適切な勧誘が行えるよう役職員の研修の充実に努めます。
6. 販売・勧誘に関する組合員・利用者の皆さまからのご質問やご照会については、適切な対応に努めます。

■個人情報保護方針

当組合は、組合員・利用者等の皆様の個人情報を正しく取扱うことが当組合の事業活動の基本であり社会的責務であることを認識し、以下の方針を遵守することを誓約します。

1. 当組合は、個人情報を適正に取扱うために、個人情報の保護に関する法律（以下「法」といいます。）その他、個人情報保護に関する関係諸法令および農林水産大臣をはじめ主務大臣が示すガイドライン等に定められた義務を誠実に遵守します。
個人情報とは、法第2条第1項に規定する、生存する個人に関する情報で、特定の個人を識別できるものをいい、以下も同様とします。
2. 当組合は、利用目的をできる限り特定したうえ、あらかじめご本人の同意を得た場合および法令により例外として扱われるべき場合を除き、その利用目的の範囲内でのみ個人情報を取扱います。
ご本人とは、個人情報によって識別される特定の個人をいい、以下同様とします。
3. 当組合は、個人情報を取得する際、適正な手段で取得するものとし、利用目的を、法令により例外として扱われるべき場合を除き、あらかじめ公表するか、取得後速やかにご本人に通知または公表します。ただし、ご本人から書面で直接取得する場合には、あらかじめ明示します。
4. 当組合は、取扱う個人データを利用目的の範囲内で正確・最新の内容に保つよう努め、また安全管理のために必要・適切な措置を講じ従業者および委託先を適正に監督します。
個人データとは、法第2条第4項が規定する、個人情報データベース等（法第2条第2項）を構成する個人情報をいい、以下同様とします。
5. 当組合は、法令により例外として扱われるべき場合を除き、あらかじめご本人の同意を得ることなく、個人データを第三者に提供しません。
6. 当組合は、保有個人データにつき、法令に基づきご本人からの開示、訂正等に応じます。
保有個人データとは、法第2条第5項に規定するデータをいいます。
7. 当組合は、取扱う個人情報につき、ご本人からの苦情に対し迅速かつ適切に取り組み、そのための内部体制の整備に努めます。
8. 当組合は、取扱う個人情報について、適正な内部監査を実施するなどして、本保護方針の継続的な改善に努めます。

■事業の概況

1 みんなの仲間

■組合員増加により協同の輪が拡大

組合員数	組合員戸数
12,929人	10,753戸
正組合員	正組合員戸数
3,097人	2,441戸
内訳 准組合員	内訳 准組合員戸数
9,832人	8,312戸

2 資本の状況

※資本は貸借対照表の「純資産」のことです



3 組織活動・教育広報の取り組み

- 生産組合組織の拡充に向けた取り組み
- 協同組合活動の啓発と組織リーダーの育成
- 機関紙「JAはだの」の充実とITを活用した情報発信
- 次世代対策活動と食農教育活動の充実



4 営農活動の取り組み

- 「地域農業振興計画」による営農指導の充実
 - ・花きの輸送形態の見直しや地域別営農活性化モデル事業の実施
 - ・営農相談や担い手育成支援、情報の提供
 - 農政活動・税制と補償対策への取り組み
 - ・新東名高速道路建設に伴う取り組み
 - ・TPP(環太平洋連携協定)交渉参加反対に向けた運動の実践
 - はだの都市農業支援センターとの連携
 - ・農園オーナー制度や収穫体験など観光農業の実践
 - ・鳥獣被害防止に向けた取り組みの実践
- 利用者総数 53万2千人
1日あたりの利用者数 1,466人
「はだのばさんず」の利用状況 取扱高 9億9,739万円
1日あたりの取扱金額 275万円

5 安全・安心な農産物の供給

- 米麦・落花生を中心とした集荷対策の実践
- 農薬適正使用講習会の開催
- 残留農薬検査の実施
- 学校給食への取り組み強化

全体の取扱高

26億1千万円

※昨年度より購買・販売取扱高の項目を変更したため販売取扱高が増加しています。



6 健康と福祉の取り組み

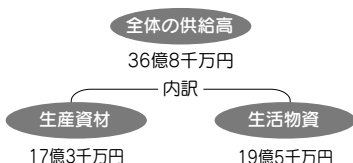
- 健康管理活動の充実
- 高齢者福祉活動の充実
- 生活文化活動や子育て支援への取り組み
- 健康福祉基金による支援活動の充実



〈居宅介護支援事業〉
利用者人数 658人
〈訪問介護事業〉
利用者人数 494人
〈介護予防訪問介護支援事業〉
利用者人数 201人

7 共同購入でくらしを豊かに

- 予約購買による生産資材の供給と利用者満足度の向上
- 生活物資の取り扱い強化と主食事業の利用拡大



※昨年度より購買・販売取扱高の項目を変更しています。
※昨年度より施設建設事業を子会社からJAに移管しています。

8 くらしのための共同施設の利用

- セレモニホール運営の充実強化
- 利用者に満足いただける旅行の提供

旅行センター

1億5千万円

JAセレモニホール

240件
うち自宅葬 2件



9 便利で安心 JAバンク

- 特別貯蓄運動・キャンペーンの実施
- 休日年金相談会など相談機能の充実



貯金残高

1,953億円

10 農業・生活・事業資金などのご融資

- 農業振興や生活・事業などの資金対応
- 休日ローン相談会の開催
- 住宅・マイカー・教育ローンとくくとくプランの実施

貸出金残高

490億1千万円

11 万に備えての共済

長期共済新契約高

410億5千万円

長期共済保有高

4,677億6千万円

1年間に支払った共済金額

事故 1,504件 7億5千万円
満期 3,151件 31億8千万円
年金 1,732件 13億0千万円



12 活動のみのり

■組合員増加により協同の輪が拡大。



当期剰余金

4億3千万円

13 協同コンサルとはだの

- まかせて安心JAのマイホーム建設
- 入居者に喜ばれる共同住宅のあっせん



入居率

95.4%

(入居率はJA系統の管理会社3社の数値)

■最近5年間の主要な経営指標

(単位：百万円、人、%)

項 目	2007 年度	2008 年度	2009 年度	前年度	本年度
事 業 収 益	7,638	7,393	7,157	7,041	6,720
信用事業収益	2,421	2,443	2,337	2,089	2,040
共済事業収益	725	745	726	736	736
農業関連事業収益	2,151	2,034	1,787	1,887	1,868
その他事業収益	2,339	2,169	2,306	2,327	2,075
経 常 利 益	886	750	773	735	657
当 期 剰 余 金	634	561	532	559	435
出 資 金	1,902	1,889	1,881	1,867	1,859
(出資口数)	(1,898,443)	(1,886,321)	(1,876,779)	(1,860,510)	(1,856,117)
純 資 産 額	12,301	12,732	13,140	13,551	13,855
総 資 産 額	185,420	191,245	196,284	203,309	210,828
貯 金 等 残 高	170,870	175,905	181,104	187,903	195,318
貸 出 金 残 高	49,734	50,311	50,020	49,249	49,011
有 価 証 券 残 高	14,666	16,012	16,949	17,171	16,506
剰 余 金 配 当 金 額	125	130	133	136	139
出 資 配 当	56	56	56	55	55
事業利用分量配当	68	74	77	80	84
職 員 数	231	230	234	236	238
単体自己資本比率	20.39	20.34	20.34	20.37	19.75

(注) 事業収益、当期剰余金は、それぞれ、銀行等の経常収益、当期純利益に相当するものです。

2011年度の協同活動の主な記録

3月



- 環境対策活動の一環として、市にLED（発光ダイオード）防犯灯を寄贈
- わな猟免許資格取得者23人を協力員とする「秦野市農協鳥獣害対策協力会」を設置（=写真）
- 1年間の女性部活動の足跡が見える、女性部誌「ひろば」発刊



9月



- 大根支所の新倉庫が完成。米の検査などにも活用
- 経済アナリストの森永卓郎氏を招き第19回文化講演会を開く（=写真）
- 国政学習会を開催。要請書の提出とともに、国会議員と意見交換を行う



4月



- 「はだの版GAP（農業生産工程管理）導入ガイドブック」が完成（=写真）
- 秦野市園芸協会主催の「春の園芸展」に約1万人の来場者
- JAはだのに適した独自の職員像、「求められる職員像」を設定



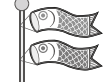
10月



- 経営士会とともに新規就農者を励ます集いを開催。3人の仲間が誕生（=写真）
- 第31回女性部運動会に330人が参加。心地良い汗を流し、親睦を深める
- 青年部が花いっぱい運動で花壇を彩る



5月



- 第48回通常総会を文化会館大ホールで開催。5議案を慎重審議
- 組合員や地域住民からの震災復興義援金を秦野市を通じ、日本赤十字社へ寄託（=写真）
- ちゃぐりんスクール開校。農業や地域文化を学ぶ



11月



- 市民の日に「協同組合フェスタ」を開催。「みんなのよい食」をPR
- 「がんばろう、日本！絆」でつなぐ希望と勇気！農業まつりに約2万8000人が集う（=写真）
- 地域密着で貢献、JAの防犯活動。防犯協会と警察署から表彰



6月



- 「安全・安心」を供給、発展誓う。じばさん元気いっぱい生産者大会を開催
- 震災被災地へJA職員（東日本大震災JAグループ支援隊）を派遣
- 「食」と「農」を身近に。青年部が園児に野菜苗を贈る（=写真）



12月



- 感謝の気持ちを込めて「人形供養祭」を開催。6000体を越す人形や縫いぐるみを供養（=写真）
- 健康増進や仲間づくりを目的に「第1回JAはだのターゲットボードゴルフ大会」を開催
- 恒例の「年忘れ年末市」を開催。正月用品を買い求める利用者でにぎわう



7月



- 組合員世帯1万戸を達成。協同の歩み大きく前進
- “地域が一体”夏まつりに組合員や地域住民など約2100人が参加（=写真）
- JAの次世代対策事業の一環として、第15回夏休み子ども村を山梨県で開き、2班で150人の児童が農業などを体験



1月



- 協同組合講座の閉講式を開き、組合員講座は51人が修了。組合員基礎講座は29人が修了
- 女性部文化交流会を開催。日頃の活動成果を披露（=写真）
- 生産組合役員研修会を開く。各支所・支店の生産組合担当職員も参加し、活性化に向けて認識の共有化を図った



8月



- JAはだの創立記念式を本所で開く。組合員ら185人が参加
- じばさんず来店者400万人を達成（=写真）
- 結婚相談事業30周年。通算100組目のカップル誕生



2月



- 「第4回地域農業振興大会」を本所で開催。営農の発展誓う
- 貯金・共済観劇招待会「八代亜紀ショー」を開き、2682人が参加。圧倒的な歌唱力で会場を魅了（=写真）
- はだの市民農業塾閉講式。希望を胸に47人が巣立つ



■農業振興活動

農業振興にかかわる活動

- ①秦野農業の活性化と組合員の農業経営の改善に向け「地域農業振興計画」の実践につとめています。
- ②市民の農業への参画促進とサポートを目的とした「はだの市民農業塾」を秦野市・市農業委員会・JAで組織される「はだの都市農業支援センター」において開講しています。
- ③遊休農地解消を目的に「さわやか農園」の拡大をすすめています。
- ④新鮮・安全・安心な農産物の供給と有利販売のため、「はだのじばさんず」や「特産センター」、地元量販店等へ安定供給につとめています。さらに、環境保全型農業に向けた堆肥の投入等による「ゆうきの里」づくりをすすめています。
- ⑤大型農産物直売所「はだのじばさんず」を中心に「地産地消」への取り組みと、地域農業と地域社会の活性化をはかるため、多様な活動を展開しています。
- ⑥食と農業の大切さを学ぶため、食農教育として行政との連携により市内の小中学校に野菜苗と肥料の資材の提供を行っています。さらに、秦野市教育委員会を通じ、市内小学校へ学校給食の食材供給を行っています。



■地域貢献活動

全般に関する事項

協同組合の特性

当組合は秦野市を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、「相互扶助」（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

当組合の資金は、その大半が組合員の皆さまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉としております。当組合では資金を必要とする組合員の皆さま方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。

JAの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域環境の美化や保全をはじめとした、都市農業が地域社会に果たすべき機能発揮や、JAと地域住民の心が通い合う文化活動、健康、福祉の充実につとめています。

1. 地域からの資金調達の状況

2012年2月末現在

(1) 貯金・定期積金残高

組合員をはじめ地域の皆さまからお預かりした貯金の残高は、1,953億18百万円となっております。（うち定期積金の残高は22億03百万円）となっております。

(2) 貯金商品

目的・期間・金額にあわせてご利用いただける各種貯金を取り扱っております。主な貯金商品については、25ページをご覧ください。

(単位：百万円)

種 類	残 高
当座性貯金	50,250
定期貯金	142,864
定期積金	2,203
合 計	195,318

2. 地域への資金供給の状況

2012年2月末現在

(1) 貸出金残高

組合員をはじめ地域の皆さまへの貸出金の残高は、490億11百万円となっております。JAは地域金融機関として、地域社会の発展と豊かな暮らしの実現に貢献することを使命と考え、事業資金や個人向けのご融資に積極的に対応してまいりました。

(単位：百万円)

区 分	残 高
組合員	36,477
地方公共団体	2,314
その他	10,219
合 計	49,011

貸出金残高の内訳は右の表のとおりです。

(2) 制度融資

農業制度資金とは、農業者が規模拡大や経営改善をはかろうとする場合や、新規分野への投資をはかる場合などに、必要な資金を低利で利用できる制度です。

農業制度資金には大きく分けて、国や地方公共団体が①JA等民間金融機関の資金を原資とする貸し付けに利子補給などを行うもの、②財政資金を原資とするもの、③財政融資資金などを原資とするものの3タイプがあります。

(3) 融資商品

農業者の皆さまには、農業経営に必要な資金をご用意しております。

その他にも事業資金、住宅ローン、教育ローン、マイカーローンなど、組合員をはじめ地域の皆さまの事業や暮らしに必要な資金をご融資しております。主な貸出商品については、26ページをご覧ください。

3. 文化的・社会的貢献に関する事項

(1) 文化的・社会的貢献に関する事項

●次世代対策活動

豊かな自然環境の中での農業体験を目的とした、「夏休み子ども村」、地域の文化を伝えるための「ちゃぐりんスクール」などを開催し、次世代を担う子どもたちに農業や環境に対する理解促進をはかっています。

●学校給食への取り組み

「食農教育」と「地産地消」を目的に、市内小学校の学校給食に地元農産物の食材供給を行っています。

●市民農園への取り組み

J Aはだのでは、県内在住者を対象に自然とふれあうとともに、農業に対する理解を深めていただける、「さわやか農園」を開園しています。

●環境保全と地域防犯への取り組み

環境保全と地域防犯活動の一環として、「はだのじばさんず」の年間利用者数にもとづく拠出金を活用し、秦野市防犯協会へLED型防犯灯を寄贈しています。

●高齢者福祉活動

「J Aデイサービスセンターはだの」と連携し、充実した高齢者福祉活動を展開しています。また、ケアマネージャーによる相談会の実施や、お茶飲み交流会（ミニデイサービス）、囲碁・将棋大会などを開催など、高齢者の生きがいと仲間づくりの場を提供しています。

●組合員教育にかかわる活動

広い視野に立ったJ A運動のリーダー育成を目的にした「協同組合講座」を開講しています。2011年度までに1,793人が修了しています。

・組合員講座

「税金・農政・法律コース」「健康・文化・環境コース」に分かれています。

年6回の研修と視察研修を半年にわたり行います。

・協同組合専修講座

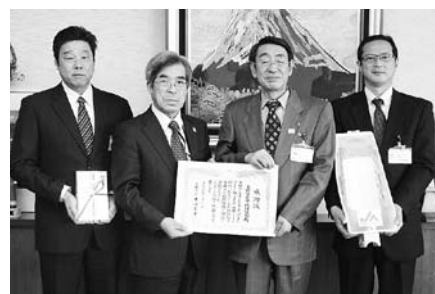
組合員講座修了者を対象としています。

受講期間は2年間です。

・組合員基礎講座

准組合員とその家族を対象としています。

協同組合運動やJ Aへの理解促進をはかることを目的としています。



●各種相談会の開催

・税務・法務相談

税務相談日・法務相談日を毎月1回開催し、組合員の諸問題の解決をはかっています。

・年金相談会（各支所）

年金の制度や手続き等について、社会保険労務士を招き定期的に実施し相談をお受けしています。

・住宅ローン相談会

住宅ローンに関する質問や各種相談をお受けしています。

●イベントの開催

「農業まつり」（11月開催）や「JAはだの夏まつり」（7月開催）など、多様なイベントを開催し、地域との共生につとめています。



（2）利用者ネットワーク化への取り組み

●組合員ソフトボール大会

組合員相互の交流と体力維持をはかるために「組合員ソフトボール大会」を開催しています。2011年度は8チーム120名が参加しました。

●グランドゴルフ大会

健康や生きがいづくりの一環として、高齢者を対象に「グランドゴルフ大会」を開催しています。2011年度は96名の組合員が参加しました。

●組合員ゴルフ大会

組合員の健康増進と親睦をはかることを目的に「組合員ゴルフ大会」を開催しています。



（3）情報提供活動

●組合員訪問日

組合員との意思疎通と組織への結集力を高めるため、JA職員が全組合員宅に伺う「組合員訪問日」を毎月26日に実施しています。組合員訪問日では機関紙「JAはだの」を配布し情報の提供につとめています。

●機関紙の発行

機関紙「JAはだの」と地域情報紙の活用や「JAはだのコミュニティー版」を通じて、地域や営農生活に関する情報を掲載し、農業、JAへの理解促進を行っています。

●ホームページ、携帯電話メールによる情報発信

ホームページと携帯メールによる情報発信を行っています。

●JAグループ提供のテレビ・ラジオ番組への参画

JAグループ情報番組、tvkテレビ「かながわ旬菜ナビ」やFMヨコハマ「JA Fresh Market」へ積極的に参画し秦野の農業の紹介を行っています。